

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【公表番号】特表2008-531223(P2008-531223A)

【公表日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【年通号数】公開・登録公報2008-032

【出願番号】特願2007-558298(P2007-558298)

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/08 (2006.01)

A 6 1 M 25/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/00 4 5 0 N

A 6 1 M 25/00 4 1 0 H

A 6 1 M 25/00 4 1 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月2日(2009.3.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

接近シースであって、
内部通路及び外面を備えたルーメンと、
前記ルーメンの前記外面に設けられたバルーンとを有し、
前記バルーンをインフレートさせると、前記バルーンは、前記ルーメンを拡張して前記内部通路のサイズを増大させる、シース。

【請求項 2】

前記ルーメンは、患者の外部の位置から尿道を通して患者の上方尿管まで延びるような寸法形状のものである、請求項 1 記載のシース。

【請求項 3】

前記バルーンは、前記ルーメンに螺旋に巻き付けられた連続コイルとして形成されている、請求項 1 記載のシース。

【請求項 4】

前記バルーンは、断面が矩形である、請求項 3 記載のシース。

【請求項 5】

前記バルーンは、湾曲した外壁により構成された丸い外面を有する、請求項 3 記載のシース。

【請求項 6】

前記ルーメン及び前記バルーンは、前記ルーメン及び前記バルーンが、患者の血管内への前記シースの挿入中、前記内部通路がガイドワイヤに合った寸法形状になるように折り畳まれた初期の押し潰し向きで提供される、請求項 1 記載のシース。

【請求項 7】

前記内部通路は、前記初期押し潰し向きにおける直径が、約 0.016 ~ 約 0.045 インチ (0.4064 ~ 1.143 mm) である、請求項 6 記載のシース。

【請求項 8】

前記シースは、前記初期押し潰し向きにおける外寸が、約 3 フレンチ ~ 約 6 フレンチで

ある、請求項 6 記載のシース。

【請求項 9】

前記内部通路は、前記バルーンを完全にインフレートさせたとき、内寸が、約 10 フレンチ～約 14 フレンチである、請求項 1 記載のシース。

【請求項 10】

前記ルーメンは、主チャネル及び前記主チャネル内に設けられた補助ルーメンを有する、請求項 1 記載のシース。

【請求項 11】

前記ルーメン及び前記バルーンは、前記ルーメン及び前記バルーンが、前記シースの前記内部通路が前記補助ルーメンを貫通した通路であるように折り畳まれると共に前記補助ルーメンに巻き付けられた初期押し潰し向きで提供される、請求項 10 記載のシース。

【請求項 12】

前記補助ルーメンは、患者の血管内への前記シースの挿入中、ガイドワイヤに合った寸法形状になっている、請求項 11 記載のシース。

【請求項 13】

前記ルーメンの近位端部のところに設けられていて、前記ルーメンへの入口を形成する突出部を更に有する、請求項 1 記載のシース。

【請求項 14】

尿管用接近シースであって、

内部通路及び外面を備えた細長いルーメンと、

前記ルーメンの前記外面に設けられたバルーンとを有し、前記バルーンは、前記バルーンをインフレートさせると、前記バルーンが前記ルーメンを拡張させて前記内部通路のサイズを増大させるように前記ルーメンに螺旋に巻き付けられた連続コイルとして形成され、

前記シースは、前記ルーメン及び前記バルーンが、前記内部通路がガイドワイヤを通過させるような寸法形状になるように折り畳まれると共に前記シースが患者の尿道を通る前記シースの容易な挿入を可能にする外寸を有する初期押し潰し向きと、前記内部通路が尿管鏡を通過させる寸法形状になっていると共に前記シースが前記尿道を拡張する外寸を有する拡張向きとを有する、シース。

【請求項 15】

前記内部通路は、前記初期押し潰し向きにおける直径が、約 0.016～約 0.045 インチ（0.4064～1.143 mm）である、請求項 14 記載のシース。

【請求項 16】

前記シースは、前記初期押し潰し向きにおける外寸が、約 3 フレンチ～約 6 フレンチである、請求項 14 記載のシース。

【請求項 17】

前記内部通路は、前記拡張向きにおける内寸が、約 10 フレンチ～約 14 フレンチである、請求項 14 記載のシース。

【請求項 18】

尿管用接近シースであって、

外面、主チャネル、及び前記主チャネル内に設けられていて、ガイドワイヤを通過させる寸法形状の内部通路を構成する補助ルーメンを備えた細長いルーメンと、

前記ルーメンの前記外面に設けられていて、前記ルーメンに螺旋に巻き付けられた連続コイルとして形成されているバルーンとを有し、前記バルーンは、インフレート状態では、前記ルーメンの前記主チャネルを拡張し、

前記シースは、前記シースが患者の尿道を通る前記シースの容易な挿入を可能にする外寸を有するように前記ルーメン及び前記バルーンが折り畳まれると共に前記補助ルーメンに巻き付けられた初期押し潰し向きと、前記主チャネルが尿管鏡を通過させる寸法形状になっている、前記シースが前記尿道を拡張する外寸を有する拡張向きとを有する、シース。

【請求項 19】

前記内部通路は、前記初期押し潰し向きにおける直径が、約 0 . 0 1 6 ~ 約 0 . 0 4 5 インチ (0 . 4 0 6 4 ~ 1 . 1 4 3 mm) である、請求項 18 記載のシース。

【請求項 20】

前記シースは、前記初期押し潰し向きにおける外寸が、約 3 フレンチ ~ 約 6 フレンチである、請求項 18 記載のシース。

【請求項 21】

前記内部通路は、前記拡張向きにおける内寸が、約 10 フレンチ ~ 約 14 フレンチである、請求項 18 記載のシース。